

令和5年 畑作・野菜 病害虫発生情報 第21号

作物名：ながいも（9月中旬）

1. 葉渋病（発生量 平年並）

発生地点率は平年よりやや高かったが、発病葉率は平年よりやや低かった。多発生ほ場はみられなかった。

巡回調査における葉渋病の発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）					発生地点率（%）	発病葉率（%）
			甚	多	中	少	微		
9月中旬	本年	28	0	0	3.6	32.1	35.7	71.4	3.1
	前年	27	3.7	14.8	14.8	44.4	18.5	96.3	13.8
	平年	26	1.1	2.7	3.8	28.0	22.7	58.2	4.1

注）発生程度：発病葉率 甚 51%以上、多 31～50%、中 16～30%、少 1～15%、微 1%未満

2. 炭疽病（発生量 平年並）

発生地点率は平年よりやや高かったが、発病葉率は平年よりやや低かった。中発生以上のほ場はみられなかった。

巡回調査における炭疽病の発生状況

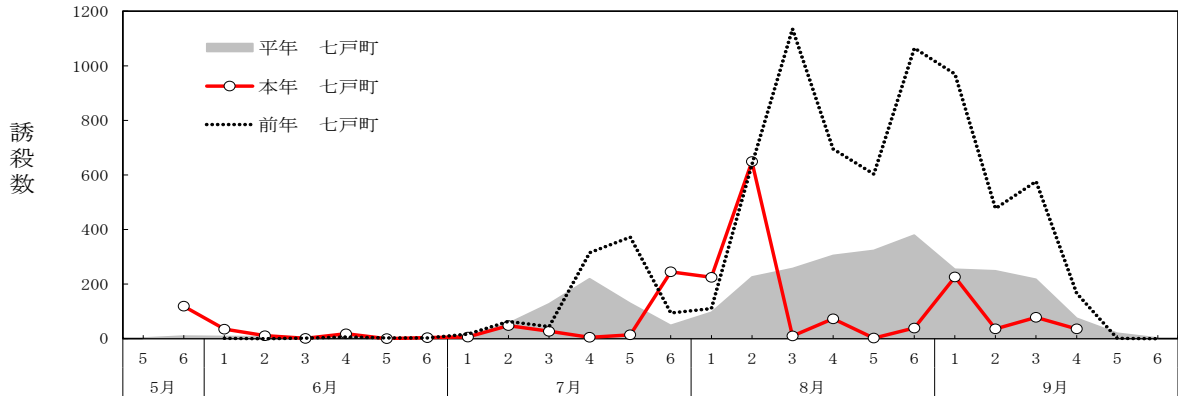
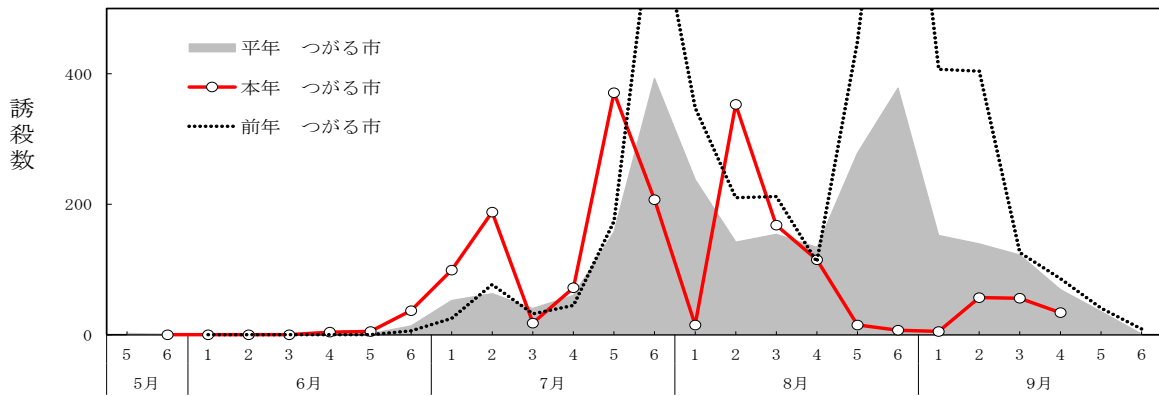
調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）					発生地点率（%）	発病葉率（%）
			甚	多	中	少	微		
9月中旬	本年	28	0	0	0	14.3	17.9	32.1	0.41
	前年	27	0	0	3.7	37.0	7.4	48.1	2.98
	平年	26	0	0	0.4	9.9	11.4	21.6	0.61

注）発生程度：発病葉率 甚 51%以上、多 31～50%、中 16～30%、少 1～15%、微 1%未満

3. ナガイモコガ（発生量 平年並）

(1) 防除適期予測ほにおけるフェロモントラップによる成虫の誘殺は、8月下旬以降は平年より少なく推移しており、幼虫による食害の増加はみられていない。

(2) 巡回調査においては、全てのほ場で食害がみられたが、いずれも少発生にとどまり、被害葉率は平年並であった。



フェロモントラップによるナガイモコガの誘殺推移（防除適期予測ほ）

防除適期予測ほにおけるナガイモコガの発生推移（10株当たり被害葉数）

調査地点	年次	7/10	7/20	8/5	8/20	9/5	9/20
つがる市	本年	1.7	22.7	30.3	25.3	17.0	16.2
	前年	—	2.5	28.0	35.3	44.1	136.4
	平年	—	3.4	47.3	54.7	—	49.8
七戸町	本年	4.1	2.0	61.5	59.4	64.5	54.2
	前年	—	0	6.8	141.8	152.7	600.0
	平年	—	3.4	9.9	38.0	—	185.2

巡回調査におけるナガイモコガの発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	被害葉率 (%)
			甚	多	中	少		
9月中旬	本年	28	0	0	0	100	100	3.2
	前年	27	0	0	3.7	77.8	81.5	6.1
	平年	26	0	0.4	0.8	87.8	88.9	3.4

注) 発生程度：食害葉率 甚 76%以上、多 51~75%、中 26~50%、少~25%

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6

TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900

担当：主任専門員 柳野利哉